

(別添 4)

【那覇市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、1人1台端末とクラウドツールを活用し、データ利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に取り組む。また、主体的に児童生徒がICTを効果的に活用することで情報活用能力を育成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

さらに、児童生徒一人一人の特性や学習進度に応じた柔軟な学びを保障するとともに、不登校児童生徒や様々な支援を必要とする児童生徒にもICTを活用した学習機会を提供する。

これらの学びを通じて、児童生徒が自己の可能性を広げ、未来を切り拓く力を身につけることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度に全小中学校の普通教室および特別教室にWi-Fi環境と1人1台端末を整備した。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」のツールとして、端末の日常的な利活用を図るとともに、家庭への持ち帰りを可能とし、長期休業中の課題やデジタルドリル等を用いた家庭学習など、様々な場面で活用することで、児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の充実に努めた。

また、GIGAスクール運営支援センター（ヘルプデスク）やICT支援員の派遣事業を展開し、ICT機器トラブルの迅速な対応や学校の要望に応じたICTに関する校内研修の実施などを通じて、学習環境に支障が生じないよう努めるとともに、教員のICT活用指導力の向上を図った。

加えて、経済的な理由等で自宅にネットワーク環境が整備されていない児童生徒に対しては、1人1台端末の持ち帰りに加え、モバイルルーターの貸出を行い、学びの機会の確保に努めた。

一方で、学校間における端末利活用の格差や、学習指導・校務におけるデジタルツールの活用に関して、教員間でのICT活用指導力の差が課題として明らかになった。これに対し、教育委員会ではICT活用の促進を図るため、更なる研修会の充実や授業等での活用事例の共有を進め、教員の指導力向上を支援している。

また、多数の児童生徒が一斉に通信を行う際に、一部の学校でネットワークの接続が不安定となる状況が見られた。このため、令和6年度にネットワークアセスメントを実施し、通信環境の改善に向けた検討を進めている。

3. 1人1台端末の利活用方策

本市の「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」を実現するため、以下の視点から端末の利活用を進める。

(1) 1人1台端末の積極的活用と情報活用能力の育成

研修などを通して教員のICT活用指導力向上を図りつつ、授業等への日常的な端末の活用を促進し、児童生徒の情報活用能力を育成する。

(2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

クラウドツールやデジタルドリルを通して、学習履歴などの教育データを活用することで、一人一人の学習状況に応じた個別最適な学びを充実させる。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3) ICTを活用した学びの保障

GIGA第2期においては、日常の授業での端末活用に加え、不登校や特別支援、日本語指導など、配慮を必要とする児童生徒に対する支援として、様々な場面でICTを効果的に活用していくことを一層推進していく。

※端末の利活用の前提として、端末の適切な整備・更新を行い、1人1台端末環境を引き続き維持するとともに、学習の質を高めるためのさらなる活用を推進する。